

## 令和5年度第2回 久留米市学校給食運営審議会 会議録

### 1 開催日時

令和6年2月22日（木）10時30分～12時30分

### 2 開催場所

中央学校給食共同調理場 2階会議室

### 3 出席者

(委員)

安倍会長、東野副会長、梅木委員、廣重委員、大津委員、田中委員、郡委員

(事務局)

小野学校保健課長、馬場学校給食共同調理場主幹、ほか3名

### 4 傍聴者

なし

### 5 議題

#### (1) 主な給食用食材の価格動向について

事務局からの説明

#### 【質疑応答】

#### ○委員B

給食費について、久留米市でも国からの補助金の活用はしているのか。

#### ○事務局

今年度給食費の値上げを行ったが、その値上げ幅を市が全額支援しており、国の交付金を活用している。

#### ○委員B

物価高騰分は給食費の値上げで対応できているのか。

#### ○事務局

値上げ幅分を支援しており、保護者負担額は値上げ前と同額となっている。

#### ○委員A

だしを減らした影響は大きいのか。

#### ○事務局

そこまで大きくない。一品減らすより、だしを減らす方が影響は少ない。

(2) 今年度の学校給食の内容について  
事務局からの説明

【質疑応答】

○委員B

価格高騰が著しい食材について、差し替え等を行っているが、現在の給食の献立は栄養価の目標値を満たしているのか。

○委員C

今年度は1学期・2学期は栄養価の目標値を基準値の前後10%に収まることを目標に献立を作成したが、1食単価が高額になったため、3学期はより献立の内容を工夫した。しかし、中学生にとって重要なタンパク質の摂取について、食材費の高騰により、基準値の85%程度にとどまっている状況である。給食費の値上げに感謝しているが、必要な栄養価を完全には満たせていないのが現状。

○委員B

学校給食に果物がないと、家庭でも必要な栄養価を満たせないと思われるが、給食の献立におけるビタミン関係は充足しているのか。

○委員C

ビタミン関係は充足している。ただし給食費の調整で果物を削らなくてはならない状況である。

○委員D

P10の麦ごはんがごはんに変わっているのはなぜか。麦ごはんの方が単価は安いのでは。

○事務局

例として選択した献立内容が麦ごはんのごはんだった。値段を考慮していない。

○委員A

だしを減らしたことで児童からの意見や影響はないのか。

○委員C

他の食材のうま味成分を利用することで、だしを減らしても、おいしさを損なわないよう献立を工夫している。給食時間に各学校を訪ねても、児童から味が薄くなった、うま味がなくなったという声は聞いていない。

○委員E

給食が物足りないと子どもから聞いたことがある。月ごとに給食を子どもが食べたいと思うような工夫をしているのか。

○委員C

中央給食センターにおいては、2月にデザートをつけることができなかった。来年度はどの月にもデザートを出せるように、献立計画をたてていきたい。

(3) 令和6年度の献立について  
事務局からの説明

【質疑応答】

○委員F

今後の給食費について、栄養価が足りていないと上げざるを得ないのではないか。栄養価を満たしているかどうかの一つの基準ではないか。

○事務局

給食費改定にあたって、給食費改定検討委員会を立ち上げ、栄養価についても話し合いを行った。そのような意見も取り入れながら来年度も検討したい。

○委員G

給食費の無償化を行っている自治体もあるが、久留米市はどうか。

○事務局

久留米市の給食費を全て無償化した場合、約10億2千万円の費用負担が新たに発生する見込みとなっている。学校等の施設の老朽化や教育ICT、水害に対する復旧対策費用等の久留米市の政策的課題に対する優先順位を考えた上で検討していくものと考えている。

(4) 令和6年度の給食費支援について（予定）  
事務局からの説明

【質疑応答】

○委員C

令和6年度に給食の栄養価が基準値を満たせない場合、令和7年度は支援予定額を値上げし、値上げ分を追加で徴収するなど柔軟な対応が必要と考えているがどうか。

○事務局

支援の制度設計など、来年度以降事務局から提案するが、また委員からも意見を伺いたいと考えている。

○委員E

給食費の予定の部分は議決後に確定するという考えでよいか。

○事務局

3月の予算審査特別委員会で協議がなされ、最終日の本会議で議決された場合実施される。

○委員E

支援額は変わるかもしれないが、給食費を変更する予定はないため、献立作成は今年度と同額の予算で行わなければならないということか。

○事務局

今回の支援は家計負担に対する支援が目的であり、給食費改定の検討は別で必要と

考えている。

- (5) 久留米市学校給食料理コンクール結果について（報告）  
事務局からの説明

【質疑応答】

○委員A

参加学校は自主的に参加しているのか。

○事務局

ローテーションで参加してもらっている。

○委員G

最優秀の献立は1月においしく食べさせてもらった。好評だった。

- (6) ストローレス牛乳パック導入について（報告）  
事務局からの説明

【質疑応答】

○委員B

児童には抵抗感はなかったのか。他の自治体の女子生徒から抵抗感があったと聞いたことがある。

○事務局

飲み口は手で触れずに飲めるように設計されている。当初は衛生面でどうなのかという意見もあった。どうしてもストローを使いたい場合は使う事もできる。

○委員G

新しいことが始まる時には、反対はつきもの。はしたないという意見もあったが、ペットボトルとどう違うかがわからない。個人的には問題ないと考えている。

○委員D

ストロー代はそもそも給食費に含まれているものなのか。ストローレスになることで、牛乳代が安くなったりしないか。

○事務局

ストロー代というものはなく、ストローレスになったからといって、牛乳代が安くはならない。

- (7) その他

○委員E

保護者は金額が上がったという部分しか見ないので、事前説明をしっかりとした上で、保護者が納得できるような理由を伝える機会を増やしてほしい。

○事務局

市の施策全般に言えることではあるが、周知はしているが、見てもらえないという

問題がある。今後より工夫をして、周知していく必要があると認識している。